クライミング

比叡山マルチピッチクライミング（登山学校山行）

【報　告　者】片桐・本
【日　　時】平成１７年１０月２日（土）
【参　加　者】片桐、本、（５）

≪　報　　告　≫

（片桐）

この度、登山学校のＡＣコース山行として、比叡山マルチピッチクライミングを行ってきました。登山学校では、２回目の比叡山であり、今回はリードも含めた総合的な登攀の実践です。私は前回参加できなかったので、事前に日向神・八女津姫岩で杉田君達に初心者向けの講習を行って頂いての参加となりました。さらに私は、初比叡・初マルチということで、期待と緊張を抱いて比叡山に向かいました。

今回のルートは、１スラスーパー（この言葉を言ってみたかったんですよね～）グレードは、Ｖ＋（よくわからん）で全８Ｐです。登攀前に支点工作の復習を行いましたが、登山学校ではマルチの確保機はルベルソを使うこととしており、フォローのビレイは支点ビレイとなります。八女津姫岩の講習では、ＡＴＣを使ったボディビレイだったので、初めから？？？。なんとか頭に叩き込んだ後、４人と３人のグループに分かれて登攀開始。私は４人チーム、本さんは３人チームで登りました。で、講師の方からは「片桐さん。リードね！」て、いきなりかいっ！ただでさえルベルソで頭が混乱しているのに、初比叡がリードとは。でも行くしかないので、覚悟を決めて登りました。登り始めて感じたのは、ルートがよくわからないことです。ピン（ハーケンやボルト）を目安として登ればいいのですが、１スラはやさしいルートのためか、ピン間隔が遠いのと、ピンの色が岩の色と同色のため、なかなかみつかりません。でも、岩自体は、適当なホールド・スタンスがあって快適に登れます。結局、１Ｐ目の終了点を見落として、その先の松の木に支点をとりました。なんとか支点工作をしてフォローのビレイ開始。二人が同時に登るのですが、ロープを引き上げるのが大変。ロープの抵抗は大きいし、二人の登るスピードが違うので、ロープがうまく引き上げられません。さらにロープをうまく振り分けないといけないのですが、これらを同時にやることはほとんど無理。汗だくになりながらなんとかこなしました。２Ｐ目は、さらに左に回りこんでのルートのようですが、ここも私がリード。当然ルートはよくわからないので、おおまかなコースを頭にいれて登りました。途中、ホールドが乏しいところがありましたが、なんとか登って終了点までたどり着きました。結局、１～５Ｐ

まで全て私がリードすることとなったのですが、５Ｐ終了時点でギブアップ！当日は記録的な暑さと直射日光のため体力は消耗し、ロープを引き上げるのもやっとでした。同時登攀だったので、本さんたちはノーマルルートを登ってきましたが、やはり、暑さのためバテ気味。結局、私たちもスーパーの核心である７Ｐ目を登る気力が無くなり、ノーマルルートに変更して登りました。８Ｐ目が終了し、山頂に到着したときは、疲れと達成感でいっぱいでしたが、景色は最高でした。下りは懸垂下降する気力もなく、下山ルートを歩いて帰りました。

今回は、１スラということもあり、グレード的にはやさしく、登りやすかった印象を受けましたが、やはり、課題はロープワーク。こればかりは、なかなかうまくなりませんが、経験を積むしかないのでしょうか？？あと、体力も必要ですよね。でも、ルベルソは、フォローのビレイとしては使いやすいと感じました。オートロックするし、安心です！！

これで、ピナクルのマルチ山行にも参加できる気がしてきましたが、難しいルートだと、全然駄目かも。

（本）

「基礎登攀技術講習　　比叡山　（TA カンテルート）」

本年度の登山学校開校以来、初めての実技がいきなり「比叡山」と聞いてかなりビビッていた私でした。

九州で「比叡山」といえばロッククライマーの聖地的イメージを抱いていたので、いくら初心ルートでの講習会といえ、私みたいなドシロウトが大丈夫なのだろうか？とかなり疑問に思っていたのでした。

その一方で初めての体験に期待も抱きつつその日を向かえたのでした。。。

登山学校だから初心者ばかりだろうと思って聞いてみれば皆さん結構クライミングをされている様子。あちゃ～。

7：00　登り口集合。早速、準備も一から説明してくださる木下講師。本当に学校なんだとなんだか嬉しくなって来たのでした。

取付きまでは以外に遠く急斜面が続き、運動不足の私は登る前に一汗かいてしまった感じでした。これは体力回復させとかなければ・・・。

7:50　いよいよ登り始め、ザイルをさばくのも緊張しました。木下講師がリード開始。私は初心ということも有り、後発で登ることに。次々に皆さんが登って行くのを必死で目で追うのですが、皆さん軽々とサッサと登って行かれます。

私も行けるかも・・・と錯覚しましたが、やはり自分自身となると緊張してガチガチのままアタフタと登って行くのでした。後に染谷さん、西さんが登って来られましたが早っ！　やっと登った所はまだ取付きで１ピッチ目は少し先。

8：30　１ピッチ目（30m・Ⅳ+）西さん、日高さん、染谷さんと続きます。

私は木下講師に見守られながら少しずつ何とか必死で登って行きました。

9：10　2 ピッチ目（45m・Ⅲ+）染谷さんがリードに挑戦。ロープの流れを確認したり、ビレイの取り方を確認したりしながら登って行きます。自分の事のように何だか緊張します。必死でその様子を確認しますが・・・見ているだけです。
9：50　3 ピッチ目（45m・Ⅳ+）また染谷さんがリード。感心して見てしまいます。自分だったらどうなのかと思いながら先に登る人達を見るのですが、何だかあっという間に視界から遠ざかってしまいます。
10：35　4 ピッチ目（30m・Ⅳ）今度は日高さんがリードに挑戦です。同じ会の仲間なので余計緊張して見てしまいます。このルートはすぐに視界から見えなくなってしまうので先の人達がビレイを取ったり、支点工作するのに悪戦苦闘している様子が見えず、時間がかかるとこちらも緊張し、心配になります。しかし、着実に声が先々から聞こえ、ザイルが流れる様子から仲間の無事と成功が感じられホッとしたのでした。
私は後から登って行くだけなのですが、カラビナ等のツールを回収するだけが、何だかてこずりました。気がつけばハーネスの両脇がツールで一杯になり、身体も重くなり登るのにジャラジャラと邪魔でした。
たったこの高さで荷物が邪魔等とフーフー言っていたらこの先大変だぞ！と気を引き締め直すのでした。でも慣れないとやっぱりてこずります・・・。
11：30　5 ピッチ目（30m・Ⅳ）最後のピッチを右に左にと足場を確認しながらゆっくり登って行きました。う～ん、皆さんのように軽やかに登れないのが悔しいところ、結構必死な場面も多かったです。技術面より登ること、ついて行く事に必死なのが反省点。次回はもっとゆとりを持って技術確認を再確認しながらしっかり登って行きたいものです。
12：30　全員が登り上がってから軽い昼食タイム。岩山の天辺からの眺目はやはり最高でした。心地良い風、青い空、遠く続く山々・・・鳥になった様な素晴らしい気分でした。
13：10　いよいよ下山。懸垂下降開始。結構垂直に長い距離を降りて行くので緊張しました。特に流れの感覚が掴めないので滑り良すぎて手が痛くなってしまう面もありました。そしてザイル 2 本分背中に背負っての下降は以外ときつかったです。振り向く度、ザイルの重みが片方の方にグイグイとかかって来るのであまり頻繁に振り向けず苦労しました。
15：30　全員下山。ミーティング。皆それぞれかなり勉強になった様子でした。
そしてそれぞれに課題を見つけたようです。私はまだまだ皆と同じラインには立てて無いのでもっとちゃんと登攀技術面でも、クラミング技術面でも向上したいと思いました。次回頑張るぞ！
何はともあれ、初めての実技が無事終了して良かったです。そして今後の登山学校が益々楽しみになりました！！